

## IPv6 自動販売機管理システム

日本では「街を歩けば5分毎に自動販売機を見かける」と言われるほどで、国内には555万台もの自動販売機があり、飲料専門の自動販売機限定しても約260万台もあります。これらの自動販売機は、時代とともに進化し、おサイフケータイ対応自動販売機まで登場しました。しかし、多くの問題点が残されています。

### 現状の問題点

- ・飲料自動販売機だけでも約260万台あり、管理が大変
- ・管理が行き渡らず、メンテナンスされていない・新商品や定番商品がないなどの問題放置
- ・購入客から飲み物の感想や意見が聞けない
- ・売りあげた時間等が分からず戦略立てにくい
- ・キャンペーンで飲料を安くするなど販売金額を自由自在に設定ができない

### 【概要】IPv6を利用した自動販売機システム

- ・在庫状況・売上履歴・釣銭状況・機械の状態など自動販売機の情報をお社に送信できる
- ・購入者から感想・意見を購入した自動販売機に携帯で送信し、本社で受信することができる
- ・Webカメラを設置し犯罪を防ぐ・年齢認証システムを作成し二十歳以上の人のみ販売・購入客の調査ができる
- ・これらの情報を会社で受信し、パソコンで全ての自動販売機において補充・メンテナンス・ゴミ回収すべき対象が明確になる
- ・パソコンで全国の自動販売機の販売金額・電光掲示板のメッセージ・温度調整自由自在に設定可能
- ・無駄なく効率よく管理でき、排気ガス排出量・ガソリン消費量・交通量・無駄な自動販売機・犯罪などマイナス面数多く減らせる



# IPv6 自動販売機管理システム (図)

